

服用前にこの説明文書を必ず読むこと。
また、必要な時に読めるよう大切に保管すること。

第②類医薬品

鎮咳去痰薬

新**ブクエフ**咳止め錠

せきは安静や睡眠をさまたげ、体力を激しく消耗しますので、余病の併発につながります。
せきは軽いうちに、はやく取り除くことが大切です。

⚠️使用上の注意



してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる）

*1. 次の人は服用しないこと

12歳未満の小児

- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないこと
他の鎮咳去痰薬、かぜ薬、鎮静薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等）
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと
（眠気等があらわれることがある。）
- 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること
- 過量服用・長期連用しないこと



相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - 医師の治療を受けている人。
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - 高齢者。
 - 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - 次の症状のある人。
高熱、むくみ、排尿困難
 - 次の診断を受けた人。
心臓病、高血圧、糖尿病、腎臓病、緑内障、甲状腺機能障害、呼吸機能障害、閉塞性睡眠時無呼吸症候群、肥満症
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精 神 神 経 系	めまい
泌 尿 器	排尿困難

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症 状 の 名 称	症 状
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。
呼吸抑制	息切れ、息苦しさ等があらわれる。

（裏面に続きます）

- 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
便秘、口のかわき、眠気
- 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効能・効果

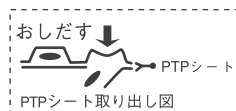
せき、たん

用法・用量

年 齢	1 回 量	1 日服用回数
15歳以上	3錠	3回服用すること。 ただし、服用間隔は4時間以上おくこと。 服用しないこと
12歳以上15歳未満	2錠	
12歳未満		

- 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- 用法・用量を厳守すること。
- 錠剤の取り出し方。

図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用すること（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながる）。



成分・分量、作用 1日量9錠中に次の成分を含む。

成 分	9錠中	主 な 作 用
シヒドロコデインリン酸塩	24mg	せきをしずめる。
d1-メチルエフェドリン塩酸塩	60mg	のどの痛みをやわらげ、せきをしずめる。
クロルフェニラミンマレイン酸塩	9mg	くしゃみ・鼻水・鼻づまりなどのアレルギー一症状をおさえる。
ノスカピン	45mg	せき中枢を抑制しせきをしずめる。
無水カフェイン	90mg	頭痛をしずめる。
グアヤコールスルホン酸カリウム	210mg	たんをきる。
合成ヒドロタルサイト	1200mg	胃酸を中和し胃粘膜を保護する。
オウヒエキス（オウヒ2.4gに相当）	144mg	せきをしずめ、たんをきる。
カンゾウエキス（カンゾウ1.2gに相当）	84mg	せきやのどの痛みをやわらげる。
セネガエキス（セネガ601mgに相当）	36mg	気道液の分泌・排出を促進し、たんを出しやすくする。

添加物：クロスカルメロースNa、ヒドロキシプロピルセルロース、結晶セルロース、ステアリン酸Mg

保管及び取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- 小児の手の届かない所に保管すること。
- 他の容器に入れ替えないこと（誤用の原因になったり品質が変わる）。
- 使用期限を過ぎた製品は服用しないこと。

お問い合わせ先
田村薬品工業株式会社 お客様相談室
06-6203-5151
受付時間10:00～17:00（土、日、祝日を除く）

副作用被害救済制度のお問い合わせ先
（独）医薬品医療機器総合機構
http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html
電話 0120-149-931（フリーダイヤル）

製造販売元 **田村薬品工業株式会社**
奈良県御所市西寺田50